

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	墓地整備基本計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備	
担当部課名	建設課		事業実施 年度	平成 29	~	平成 29	年度 III-12
事業内容	本村に点在する墓地の現状を調査し、村民へアンケート調査を行うことで村民ニーズを把握するとともに、墓地を集約化することで、散在化の抑制、土地利用対策及び景観への配慮を目的とした総合的な墓地対策の指針となる墓地基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	総事業費
	A. 予算現額	7,500					7,500
	B. 執行済額	7,290					7,290
	うち 交付金充当額	5,832					5,832
	執行率(%) (B/A)	97.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2%
執行状況の説明	執行率は97.2%であり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	墓地整備基本計画の策定		目標	計画策定	-	-	-
		実績	計画策定	-	-	-	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	墓地整備基本計画の策定完了		目標	計画策定の完了	-	-	-
		実績	計画策定の完了	-	-	-	-

事業完了後の取り組み							
事業完了後の 成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度
	令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。		目標	8件	8件	8件	8件以上
			実績	5件	3件	6件	4件
	状況説明	【R01年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は3件であった。平成30年度と同様に目標の8件は達成できなかったが村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和元年度においても散在防止及び墓地の集約を図ることができた。					
【R02年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は6件であり、前年度同様8件は達成することはできなかったが、村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和2年度においても散在防止及び墓地の集約化を図ることができた。							
【R03年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は4件であり、目標件数8件には達成することはできなかったが、村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和3年度においても散在防止及び墓地の集約化を図ることができた。							

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R01年度】 ・令和元年度においても個人所有の土地による墓の建設相談が3件あったが、墓地基本計画に沿い村営墓地団地への利用案内、計画の説明を行い村営墓地団地の利用をしていただいた。前年度同様に墓地の散在防止及び集約化へ繋がっている。このことから同計画の事業効果が発揮できていると考える。</p> <p>【R02年度】 ・令和2年度においても、引き続き個人所有の土地における墓地設置の相談があった際は村営墓地団地への利用案内を行っている。そのため、墓地の散在化防止及び集約化に繋がっていると考え。</p> <p>【R03年度】 ・令和3年度においても、引き続き個人所有の土地における墓地設置の相談があった際は村営墓地団地への利用案内を行っている。そのため、墓地の散在化防止及び集約化に繋がっていると考え。</p>	<p>【R01年度】 ・前年度同様に墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知を引き続き村ホームページや広報誌等に掲載する必要がある。 個人所有の土地における墓地の設置についても申請があった場合、墓地整備基本計画を説明し、村営墓地団地の利用を促しているが、強制ではないため許可区域の選定を行う2次計画の策定を行う必要がある。</p> <p>【R02年度】 ・墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知について、これまでの村ホームページや広報誌等による周知の効果が発現しているが、更なる周知徹底を図るため、村公式SNSを活用した周知活動などを行う必要がある。</p> <p>【R03年度】 ・墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知について、これまでの村ホームページや広報誌等による周知しているが、更なる周知徹底を図るため、掲載回数やレイアウトをリニューアルしたり年配の方でも分かりやすい紙面などにする必要がある。</p>
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)	
<p>【R01年度】 ・引き続き村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を周知する。 今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可区域の選定を行っていく。なお、許可区域の選定においては、検討委員会等の設置や農業委員会等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した計画書の作成を検討する。</p> <p>【R02年度】 ・引き続き、村ホームページや広報誌を通して、村民へ墓地に関する情報の周知を図るとともに、村公式Instagram等のSNSを活用した周知を図るなど、広く認識が深められるよう取り組みを進めていく。</p> <p>【R03年度】 ・引き続き村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を提供する。 今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可及び区域においては、農業委員会や各区区長等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した取組を進めていく。</p>	

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	伊江村観光振興基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	商工観光課	事業実施年度	平成29 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
 本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインバウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
	A. 予算現額	10,000				10,000
	B. 執行済額	9,990				9,990
	うち 交付金充当額	7,992				7,992
	執行率(%) (B/A)	99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9%
執行状況の説明	執行率は99.9%であり、予算の範囲内で適正な執行を行った。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光振興計画の策定(課題の整理、基本方針・基本施策の決定など)	目標	観光振興計画の策定				
		実績	策定完了				
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・本村の現状、課題の把握	目標	現状・課題の把握				
		実績	現状・課題の把握				
	・今後5年間の観光振興に向けた基本施策の決定	目標	基本施策の決定				
		実績	基本施策の決定				

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	3年度 目標/発現年度
	入域観光客数 158,000人/年 (参考)H27年度136,000人/年	目標		141,500人	147,000人	152,500人	158,000人
		実績	127,298人	127,754人	121,820人	39,464人	40,816人
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【R1年度】 ・年度末の3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響もあり修学旅行のキャンセルや、一般観光客が激減した。</p> <p>【R2年度】 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言は解除されたが、令和2年度内の修学旅行は多くが中止、一般観光客の渡航減少が続いている。 ・村内の誘客イベントについての開催中止となり令和2年度の目標数を大きく下回っている。</p> <p>【R3年度】 ・令和3年度は昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により沖縄県全域に緊急事態措置が発令され修学旅行の多くが中止、延期となり、一般観光客の入域も減少となっている。 ・県内外のイベントは全て中止となった。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・イベントの際に観光振興計画を参考に夏場の観光誘客を行った。イベントでは前年度を上回る観光客でにぎわった。</p> <p>【R2年度】 ・伊江村観光誘客については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が出来なかった為、SNSでの伊江島情報の発信に力を入れた。</p> <p>【R3年度】 ・観光誘客については、イベントや行事が開催できなかったためSNSでの情報発信を主として行った。</p>			<p>【R1年度】 ・実現可能な内容を精査しイベント等の誘客策を提案していくことが必要である。</p> <p>【R2年度】 ・観光誘客として実施する事が困難であるため、観光PRの情報発信をする事で認知度向上に力を入れる。次年度はイベント開催の状況を見ながら誘客へと繋げていけるようにする。</p> <p>【R3年度】 ・観光関連のイベント実施は困難である為、SNS等の情報発信で認知度向上に努めた。次年度の誘客に繋げるような情報発信を心掛ける。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっていくことから各関係機関との連携や、意見交換を行っていく。今後の進め方について引き続き協議し、観光誘客について慎重に検討していく。</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、入域観光客数は前年と比べ1/3程減少した。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、誘客イベントを進めていく。村内の観光関連事業者との連携を引続き行い、観光振興に努めていく。</p> <p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数の減少は続いおり、教育民泊についてはほとんど実施できていない。県内、村内の感染状況を見ながら、引続き誘客イベントを進め、観光関連事業者との連携を密に行い観光振興に努めていく。</p>							

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	伊江村多目的交流センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
					観光客の受入体制の整備

担当部課名	企画課	事業実施年度	平成30 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
-------	-----	--------	--------------	------------------	---------

事業内容
 本村が取組むスポーツコンベンションを推進するとともに、合宿や教育旅行民泊の受入れ人数の増加を図ることを目的として、伊江村多目的交流センターの基本構想を策定する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	14,000	4,796			18,796
	B. 執行済額	9,936	4,796			14,732
	うち 交付金充当額	7,948	3,836			11,784
	執行率(%) (B/A)	71.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	78.4%
執行状況の説明	執行率は78.4%となっており、当初予定していた業務を計画どおりに実施することができた。なお、減額については、入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	○年度	○年度	○年度
伊江村多目的交流センターの基本構想の策定	目標	基本構想の策定				
	実績	基本構想の策定完了				
伊江村多目的交流センターの基本計画	目標		基本計画の策定			
	実績		基本計画の策定完了			

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	○年度	○年度	○年度
施設整備に向けた事業手法、施設規模、事業スケジュールの決定	目標	各項目の決定				
	実績	各項目の決定				
伊江村多目的交流センターの基本計画の完了	目標		策定完了			
	実績		策定完了			
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	3年度 目標/発現年度
	年間利用者数 18,000人/年	目標					18000人
		実績	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【R1年度】 ・年度末の3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響もあり修学旅行のキャンセルや、一般観光客が激減し、今後の事業展開を再検討した。</p> <p>【R2年度】 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言は解除されたが、修学旅行や教育旅行の多くが中止、一般観光客の渡航減少が続いている。100名規模の施設整備を予定していたが、規模決定を再度検討することも視野に入れて進める。しかしながら、コロナ禍からの脱却に向け事業検討を行っていく。</p> <p>【R3年度】 ・令和3年度も、新型コロナウイルス感染により観光や、修学旅行や教育旅行の多くが中止、一般観光客の渡航減少が続いている。事業内容の再検討を行っていく。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により渡航者の減少が出来なかった為、SNSでの伊江島情報の発信に力を入れた。				【R3年度】 ・観光誘客として実施する事が困難であるため、観光PRの情報発信をする事で認知度向上に力を入れる。次年度はイベント開催の状況を見ながら誘客へと繋げていけるようにする。			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっていくことから各関係機関との連携や、意見交換を行ってき、今後の進め方について引き続き協議し、施設整備について慎重に検討していく。							

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	離島における陸上養殖可能性調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
					農林水産業の振興

担当部課名	伊江村役場	農林水産課	事業実施年度	平成30 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容
伊江村の漁業振興に向けて、これまで、夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により、伊江島琉球石灰岩地層の地下水を汲み上げ、新たな過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた、海水調査事業を実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額		13,000			
B. 執行済額		10,400				10,400
うち 交付金充当額		8,121				8,121
執行率(%) (B/A)		80.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	80.0%
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行なった。尚、不用額2,600千円については入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
陸上養殖の可能性調査	目標	現地調査				
	実績	現地調査完了				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
調査結果報告書作成	目標	報告書作成				
	実績	報告書作成完了				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	○年度 目標/発現年度
	調査結果を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	目標	報告書作成				生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖
		実績	報告書作成完了				生産量目標値の設定のみ実施。陸上養殖場施設整備は未実施。
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【R3年度】 ・調査結果を踏まえて、「伊江村陸上養殖場施設整備事業」にて施設整備する予定であったが、関係省庁による補助事業化が実施できず整備することができなかった。R4年度の事業実施予定とし、R5年度中の完成予定なので、R6年度検証予定。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【3年度】 ・令和3年度に補助事業化が出来ず、未整備のままである。そのため、生産量目標値に対する検証が行えなかった。 ・次年度(令和4年度)に事業化、整備予定。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【3年度】 ・他事業において整備可能な補助事業の検討が必要。 ・整備後のR6年度に生産量目標値に対して検証をし、安定した生産量確保に向けて、施設運営をしていく。 ・他市町村では事例がなく先進性のある施設になる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R4年度】 ・実証実験結果を基に、施設を整備する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	村立保育所整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ
					地域における子育て支援の充実

担当部課名	福祉課	事業実施年度	令和1 ~ 令和2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-2-(2)
-------	-----	--------	--------------	------------------	---------

事業内容
 幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		1年度	2年度	3年度	4年度	合計
	A. 予算現額		49,077	462,910	0	0
B. 執行済額		49,077	460,916	0	0	509,993
うち 交付金充当額		49,077	368,732	0	0	417,809
執行率(%) (B/A)		100.0%	99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.6%
執行状況の説明	(R01年度)予算の範囲内で適正な事業執行ができた。なお、当初予算からの減額(▲5,434千円)については、入札残によるものである。 (R02年度)予算の範囲内で適正な事業執行ができた。なお、当初予算からの減額(▲1,994千円)については、入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
・用紙取得の実施 ・実施設計の実施	目標	実施	-	-	-	-
	実績	実施	-	-	-	-
・保育所建設工事 ・備品購入	目標	-	実施	-	-	-
	実績	-	実施	-	-	-

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
・用紙取得の実施 ・実施設計の実施	目標	完了	-	-	-	-
	実績	完了	-	-	-	-
・保育所建設工事 ・備品購入	目標	-	完了	-	-	-
	実績	-	完了	-	-	-
【R3成果目標】 待機児童ゼロ	目標	-	-	待機児童 ゼロ	-	-
	実績	-	-	待機児童 ゼロ	-	-

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			1年度	2年度	3年度	4年度	5年度 目標/発現年度
	子育てと就労が両立できる環境		目標	-	-	待機児童 ゼロ	-	-
			実績	-	-	待機児童 ゼロ	-	-
			目標					
実績								
状況説明	<p>【3年度】 ・子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を目指し、待機児童ゼロを目指す。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【3年度】 ・子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができ、待機児童ゼロを目指事が出来た。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>				<p>【3年度】 ・特になし</p> <p>【4年度】 ・特になし</p> <p>【5年度】 ・特になし</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
<p>【3年度】 ・保護者子育てと就労が両立できるよう、引き続き育児サークルなどと連携を図り、福祉の拡充を図る。 ・子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を目指す。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>								

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	バス停上屋整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-(ウ)
担当部課名	総務課	事業実施年度	令和2 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人に優しい交通手段の確保
					Ⅲ-1-(1)

事業内容
観光客等が快適に公共交通機関を利用できるよう、村内主要バス停4箇所にバス停上屋を整備する。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和2年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	14,123				14,123
	B. 執行済額	14,123				14,123
	うち 交付金充当額	11,298				11,298
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な事業執行ができた。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		R02年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	バス停上屋の整備(4箇所)	目標	4箇所				
		実績	3箇所				
		目標					
		実績					
		目標					
実績							

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		R02年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	バス停上屋の整備(4箇所)	目標	4箇所				
		実績	3箇所				
		目標					
実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	○年度 目標/発現年度
	【R3成果目標】 ・観光客等が快適に公共交通機関を利用できる環境が整備されたか(80%以上)を含め利用者へアンケート調査を実施することにより本事業のあり方を検証する。		目標	80%			
			実績	80%			
			目標				
		実績					
状況説明 【R03年度】 ・バス停上屋の整備については、当初4基設置予定であったが、1箇所の整備予定地について、分筆業務等に時間を要したため、年度途中で目標を3基の整備とすることに変更し、3基の整備がなされた。アンケート調査については、利用者のうち80%の方が快適な公共交通機関の確保が図られたと回答した。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R03年度】 ・バス事業者へ確認し、施設利用および搭乗者数の利用状況を確認する。			【R03年度】 ・令和3年度については、未整備箇所の整備を早急に進めるとともに、その他バス停についても、上屋設置の必要性について検討を行う。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R03年度】 ・既に設置をした3箇所のバス停上屋については、利用状況を把握や適正な維持管理を行い、公共交通機関の快適な利用環境の確保に努めるとともに、新たに設置が必要な箇所が無い引き続き検討・調査を行う。							
【 年度】 .							
【 年度】 .							

市町村名 **伊江村**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	伊江村観光危機管理計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	商工観光課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	A. 予算現額		10,000	/	/	/
B. 執行済額		8,100	/	/	/	8,100
うち 交付金充当額		6,480	/	/	/	6,480
執行率(%) (B/A)		81.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.0%
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額1,900千円については入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
伊江村観光危機管理計画の策定 (観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画の策定)	目標	観光危機管理計画の策定	/	/	/	/
	実績	策定完了	/	/	/	/
	目標		/	/	/	/
	実績		/	/	/	/

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
伊江村観光危機管理計画の策定完了	目標	観光危機管理計画の策定完了	/	/	/	/
	実績	策定完了	/	/	/	/
【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画に基づき避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標			避難訓練実施	/	/
	実績				/	/

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R1	R2	R3	R4	4年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	整備後 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	
		実績	避難訓練実施 1回	避難訓練実施未実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)	避難訓練実施未実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)		
状況説明	【R1年度】 ・令和元年度は、各観光関連事業者等に伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機マニュアルを配布し、伊江村役場が主体となって、宿泊事業者、民家体験宿事業者及び受入民家の体表を対象に避難訓練を行いました。						
	【R2年度】 ・令和2年度は、各観光関連事業者を対象の前年度も実施した避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策との関係で未実施となった。 ・沖縄県観光防災力強化支援事業を活用し、伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品(簡易トイレ、毛布、救急箱、発電機等)、避難所誘導看板を整備し、観光客受入体制の強化を行った。						
	【R3年度】 ・沖縄県観光防災力強化支援事業を活用し、伊江村観光危機管理計画に基づいて、避難所用テントの購入や土地勘の無い観光客に対して避難誘導を行う目的で観光防災マップを作成し、観光客受入体制の強化を行った。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R2年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づき、補助事業を活用し、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備した。				【R2年度】 ・令和2年度は伊江村観光危機管理計画に基づいて観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備したが、不足している備品や消耗品(懐中電灯、電池、生理用品等)を今後も引き続き整備していきたい。			
【R3年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づき、観光防災力強化支援事業を活用し、観光防災マップの作成や避難所用テントを整備した。				【R3年度】令和3年度は伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光客用避難所用テントの購入や土地勘の無い観光客に対して避難誘導を行う目的で観光防災マップを作成し、観光客受入体制の整備を行ったが、不足している備品の整備も今後していきたい。			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画の周知を行うことにより、観光関連事業者等に観光危機管理への意識を高めることで、伊江村観光客受入体制の強化につながる。							
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、伊江村の観光客数は例年の三分の一にまで減少したが、観光危機に対して危機管理の意識は高まったといえる。今後は伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機管理体制の強化及び早期の復興計画、観光関連事業者への事業継続支援等を行い、伊江村の観光振興に繋げたい。							
【R3年度】 ・今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、伊江村の観光客数はコロナ禍以前に比べて減少しているが、観光客用避難所用テントの購入や土地勘の無い観光客に対して避難誘導を行う目的で観光防災マップを作成し、観光客受入体制の整備ができた。今後は伊江村観光危機管理計画に基づいた伊江村の観光振興に繋げたい。							